

# CASBEE® - 建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

<b>1-1 建物概要</b>		<b>1-2 外観</b>	
建物名称	境漁港高度衛生管理型市場	階数	地上2F
建設地	鳥取県境港市	構造	RC造
用途地域	準工業地域、防火指定なし	平均居住人員	388人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年7月 予定	評価の実施日	2017年1月12日
敷地面積	62,633 m <sup>2</sup>	作成者	佐伯 和久
建築面積	23,206 m <sup>2</sup>	確認日	2017年1月12日
延床面積	26,976 m <sup>2</sup>	確認者	松山 久



**2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)**

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

**2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)**

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

**2-3 大項目の評価(レーダーチャート)**

Q2 サービス性能

Q1 室内環境

Q3 室外環境 (敷地内)

LR1 エネルギー

LR3 敷地外環境

LR2 資源・マテリアル

**2-4 中項目の評価(バーチャート)**

Q 環境品質

Q のスコア = 2.8

**Q1 室内環境**

Q1のスコア= 2.7

**Q2 サービス性能**

Q2のスコア= 3.4

**Q3 室外環境 (敷地内)**

Q3のスコア= 2.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.8

**LR1 エネルギー**

LR1のスコア= 4.3

**LR2 資源・マテリアル**

LR2のスコア= 3.3

**LR3 敷地外環境**

LR3のスコア= 3.6

<b>3 設計上の配慮事項</b>		
<p>高度衛生管理型市場、水揚げから荷捌き・出荷に至る各工程について、水産物・人・車両動線に配慮し、角危害要因を取り除く施設整備と同時に、衛生管理が的確に行え、その持続性を確保した総合的な衛生管理体制の確立が図れる施設計画とする。</p>		その他
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>熱効率のよい空調機器などを採用する。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>設備更新に対応できる強電・弱電用幹線ルートを確認する。</p>	<p><b>Q3 室外環境 (敷地内)</b></p> <p>敷地面積から建築面積を除いた面積の3%の緑地帯を確保する。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>環境配慮として、使用するケーブル類はエコケーブルを採用する。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>資源保護の一環として、節水型衛生器具や効率の良い空調機器などを採用する。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>ライフサイクルコストの削減として、省エネルギー型の照明器具 (LED照明など) 採用。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される